



～ 夢ひとすじに ～
宮原中だより
学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

令和 8 年度 第 2 号
令和 7 年 4 月 2 8 日 (火) 発行
さいたま市立宮原中学校
ホームページアドレス
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp>
メールアドレス
miyahara-j@saitama-city.ed.jp



『非認知能力』

校長 田 中 和 浩



「非認知能力」といわれるものがあります。

これは、テストなどのように数値で測ることのできない「やる気」や「忍耐力」、「協調性」や「自制心」などの、人の内面に培われる力のことです。

中学生にとって、学習を積み重ねることは、とても大切なことです。ですが、それと同じくらい、一面ではそれ以上に、これらの力は社会で生きていくために必要な力だと考えます。

「やる気」や「忍耐力」、「協調性」や「自制心」を身につける方法としては、次の4つのことが挙げられます。

- 1 具体的な目標を立てること
 - 2 小さな習慣を継続すること
 - 3 対話を通して自分を振り返ること
 - 4 感情をコントロールする方法を学ぶこと
- また、そのような子どもの成長を見守る大人の役割としては、
- 1 主体的な「遊び」（といった本人が「好きと思うこと」や「やってみたいと思うこと」）を尊重すること
 - 2 自分の行動を自分で決める経験をさせること
 - 3 「結果」ではなく「過程」をほめること
- が、カギとなるようです。

私は、宮原中学校の生徒には、「好きなこと」「やってみたいと思うこと」に打ち込み、「できなかったことができるようになる」経験を1つでも多く実感してもらいたいと考えます。部活動や委員会活動、学校行事の中で、「やる気」や「忍耐力」、「協調性」や「自制心」をはぐくみ、自分の学習にもよい影響のある資質を磨いてもらいたいと思います。

★★★スマートホンの使い方、使わせ方を考えましょう★★★

皆さんのご家庭では、どのようなルールでスマートフォンを使っているでしょうか？

加害者にも、被害者にもならないためには、「節度を守った使い方ができる」ようになることが大切です。モラルやマナーを守り、責任のとれる使い方ができるためには、ルールの範囲内で工夫して使うことを学ぶ必要があります。

- 1 管 理：①中学生向けのフィルタリングを設定する ②親とパスワードを共有する
③親が確認のため見ることがある
- 2 時 間：①1日のうち〇〇時以降使用しない ②使用後はリビングで充電、保管する
- 3 場 所：①自分の部屋に持ち込まない ②リビングで使用する
- 4 アプリ：①ゲームは1つのみ ②SNSのアカウントを持たない ③LINEでつながる場合は、親の同意を得る
- 5 連 絡：親からの電話連絡は必ず出る（または、折り返す）

※ルールを守れなかったときにどうするかも、決めておくとういようです。

ルールはときに、自分の身を守ってくれるものです。子どもの主体性を尊重しながら、親に心配をかけないように使ってもらうため、親子でよく話し合っ、ご家庭のルールを決められるとういでしょう。